

# 前回委員会での 指摘事項への回答

---

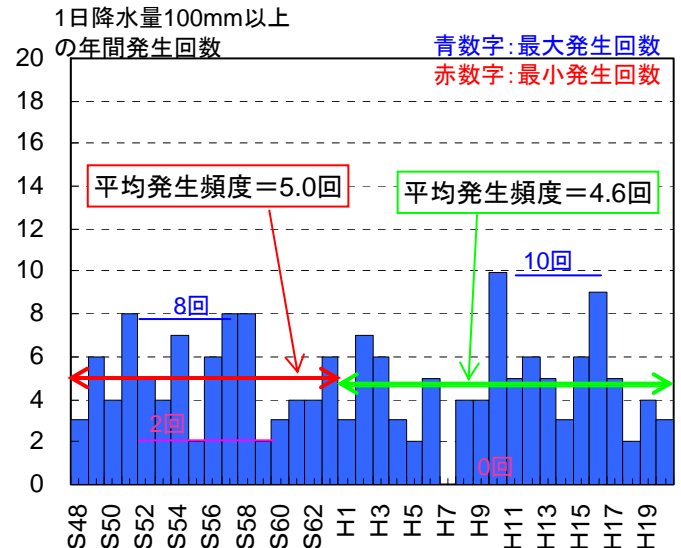
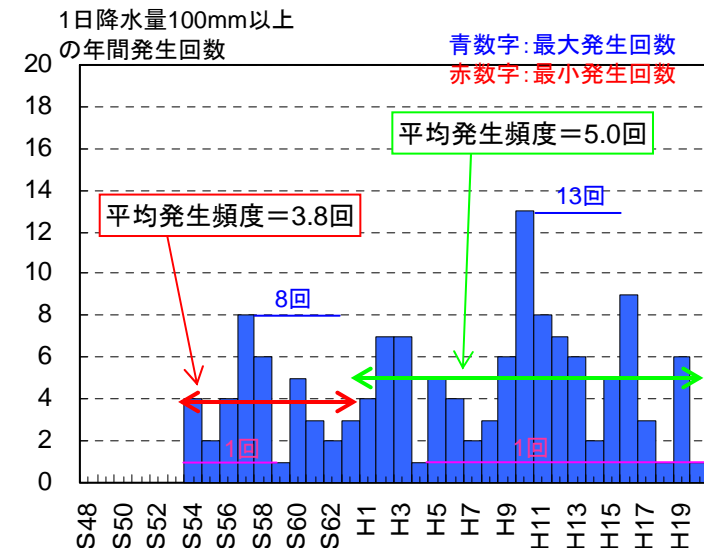
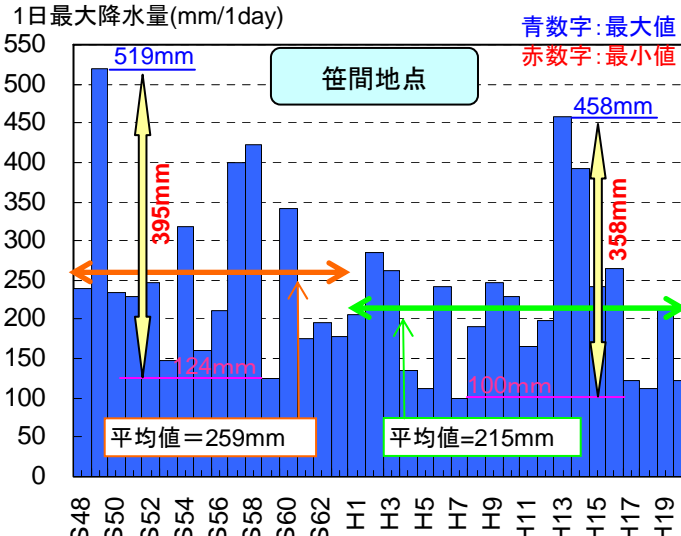
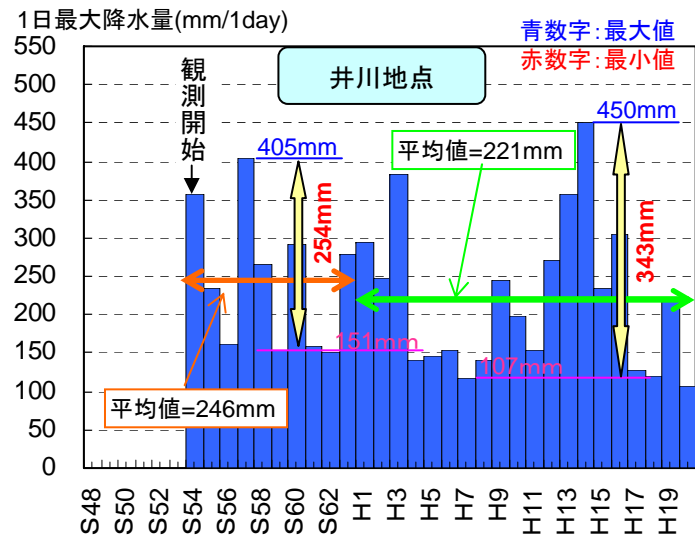
【指摘事項】

- 雨量のグラフには平均値が記載されているが、最大値と最小値の比較検討も行って見たらどうか
- 淵の調査年次が古いので、現況の調査結果を教えてください

第1章 第2節 第1項 洪水、高潮による災害の発生又は軽減に関する現状と課題

1日最大降水量  
の経年変化

- ・井川地点は、1日最大降水量の最大値が増加傾向、最小値が減少傾向にあり、最大値と最小値の変動幅が254mmから343mmに広がっている。
- ・1日降水量が100mm以上の年間発生回数の最大値は、井川地点・笹間地点とも至近20年が増加傾向にある。

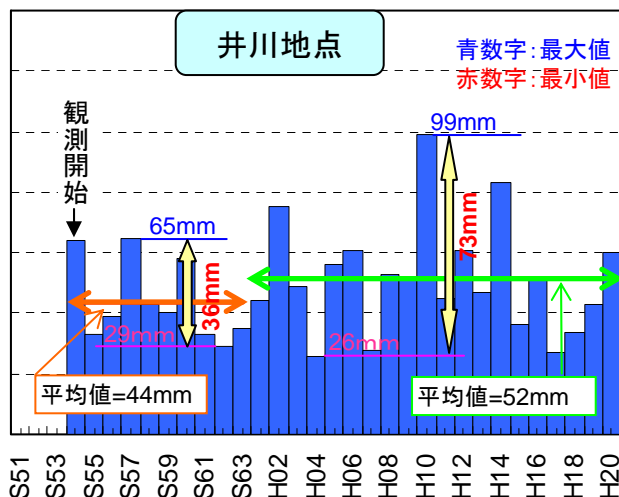


第1章 第2節 第1項 洪水、高潮による災害の発生又は軽減に関する現状と課題

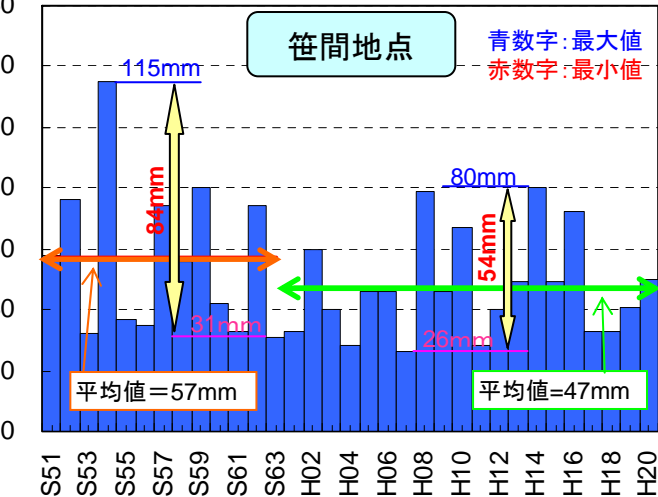
1時間最大降水量  
の経年変化

- ・1時間最大降水量も1日降水量と同じく、井川地点で最大値が増加、最小値が減少傾向にあり、最大値と最小値の変動幅が36mmから73mmに広がっている。
- ・1時間50mm以上、80mm以上の年間発生回数の最大値は、井川地点・笹間地点とも増加傾向は見られない。

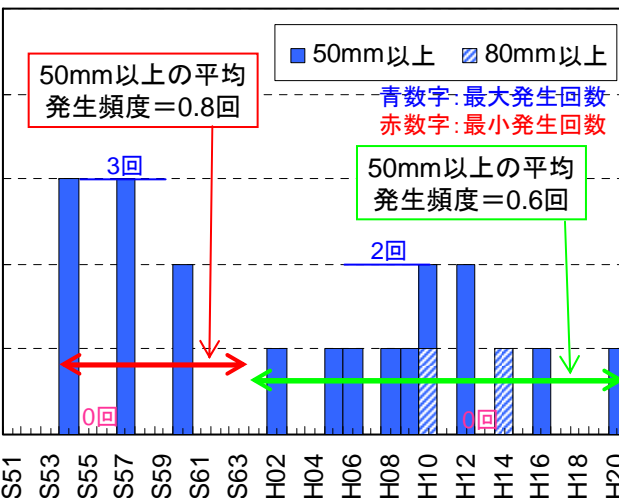
1時間最大降水量(mm/hr)



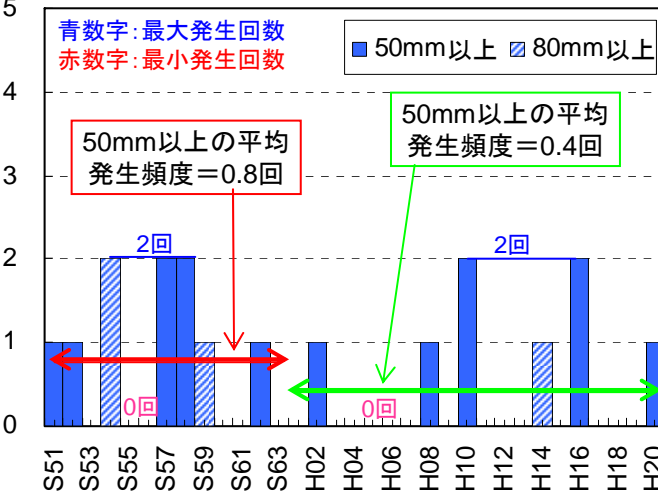
1時間最大降水量(mm/hr)



年間発生回数



年間発生回数



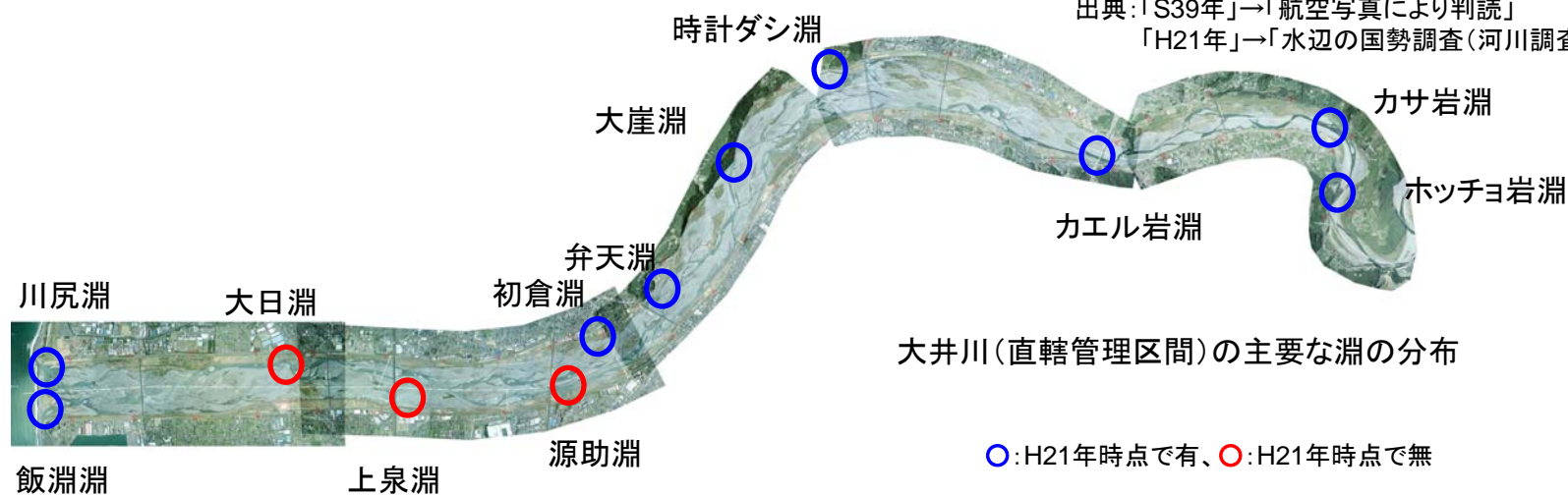
第3章 第1節 第3項 河川環境の整備と保全に関する事項

大井川の瀬・淵の変化について

- ・平成9年に漁協への聞き取り調査により、確認できた名前のついた12の淵の変化状況は、以下のとおりである。
- ・時計ダシ淵より下流では、低水路幅が広く、出水の度に流路が変化するため、安定した淵が存在しにくい環境になっている。
- ・一方、時計ダシ淵より上流の淵は、現在に到るまで存在している。

淵の名称	位置	以前		S39年		H21年
川尻淵	-0.5k右岸	有	→	無	→	有
飯淵淵	-0.5k左岸	有	→	有	→	有
大日淵	3.6k右岸	有	→	無	→	無
上泉淵	5.5k左岸	有	→	有	→	無
源助淵	8.0k左岸	有	→	有	→	無
初倉淵	9.0k右岸	有	→	無	→	有
弁天淵	10.1k右岸	有	→	無	→	有
大崖淵	13.0k右岸	有	→	無	→	有
時計ダシ淵	14.4k右岸	有	→	有	→	有
カエル岩淵	18.7k左岸	有	→	有	→	有
カサ岩淵	23.0k右岸	有	→	有	→	有
ホッチョ淵	24.0k左岸	有	→	有	→	有

出典:「S39年」→「航空写真により判読」  
「H21年」→「水辺の国勢調査(河川調査)結果」





第3章 第1節 第3項 河川環境の整備と保全に関する事項

大井川の瀬・淵の現状について(H22年11月現在)

川尻淵 : 有



河口部に大規模な淵が形成

大平橋

飯淵淵 : 有



本川との通水無し  
現在は大規模なタマリ

大日淵 : 無



現在の流路は左岸側  
右岸側の通水は無い

航空写真撮影:平成17年

島田市

上泉淵 : 無



現在の流路は河道中央  
左岸側の通水は無い

藤枝市





第3章 第1節 第3項 河川環境の整備と保全に関する事項

大井川の瀬・淵の現状について(H22年11月現在)





第3章 第1節 第3項 河川環境の整備と保全に関する事項

大井川の瀬・淵の現状について(H22年11月現在)

カサ岩淵 : 有

大規模な淵が形成

ホッチョ淵 : 有

カエル岩淵 : 有

下流側

上流側

砂利堆積による埋没の可能性あり

航空写真撮影:平成17年

大井川橋

新大井川橋

島田市

16.0km

18.0km

20.0km

22.0km

24.0km